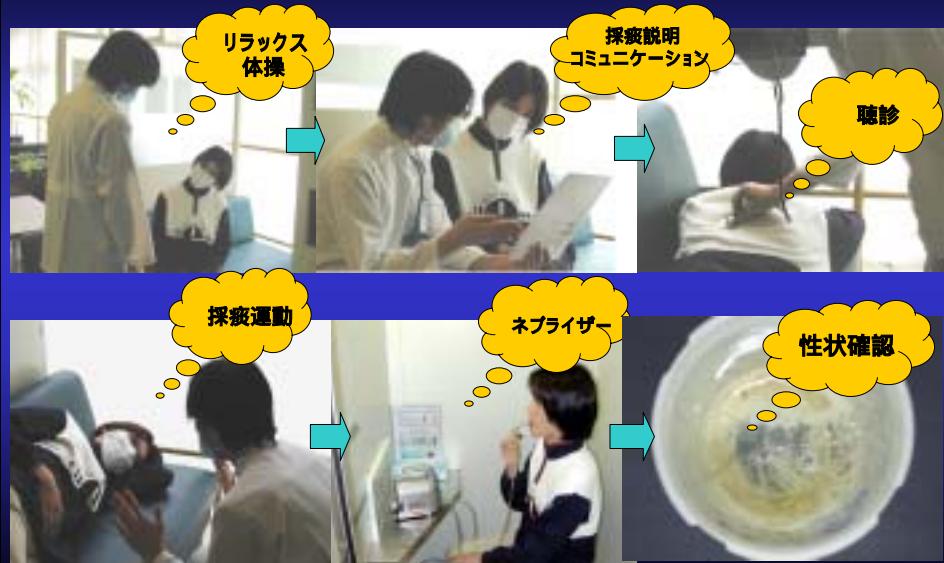


採痰指導の流れ その1

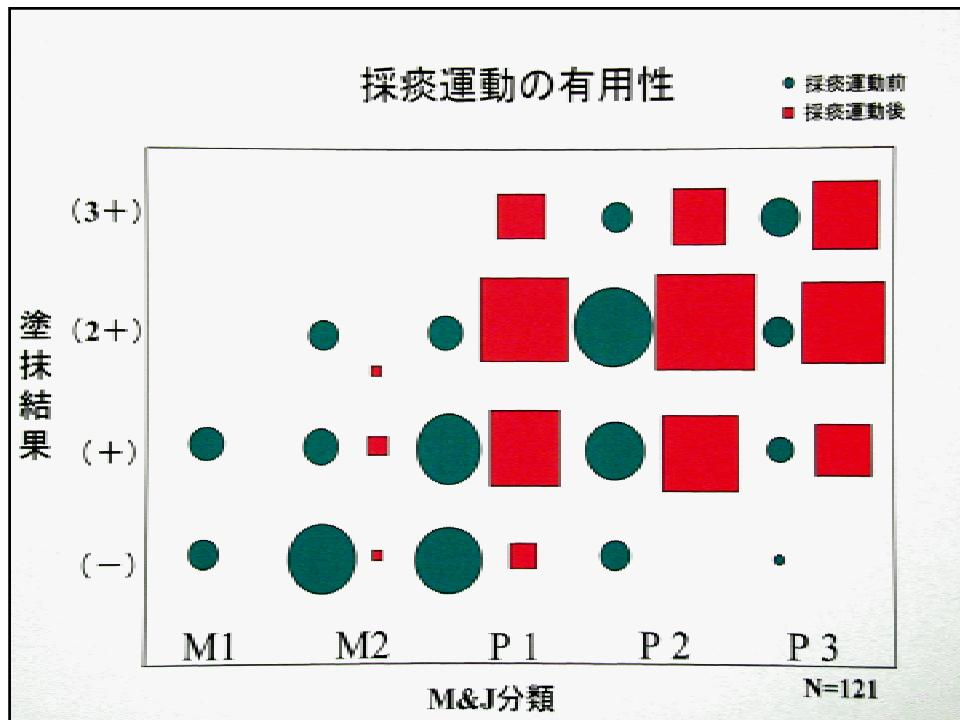


関西感染予防ネットワーク

採痰指導の流れ その2



関西感染予防ネットワーク



まとめ

検体採取、輸送・保存、検査の3つの過程がしっかりと連携されていなければ、患者の病態を反映した正しい成績が得られない。検査室に検体が提出されるまでの期間、如何に信頼のおける条件で検体の管理が行われていたかということが重要である。

常在菌の混入を避け、確実に病原体を含む検体を採取することと、検体中の微生物の増減を防いだ状態を維持することが要求される。

微生物検査を正しく活用するには、医師、ナース、患者の協力が最も大切である。